

## 一部週刊誌に掲載された記事について

先日、某週刊誌に掲載された当院救急部門の ER 医師に関する記事について、これまでの経緯と現状について述べさせていただきます。

雑誌社から質問状が届きインタビューに応じました。質問された各事象については医療過誤と言えるものが一件もないことを医学的観点から丁寧に説明し正直かつ誠実に回答しました。しかし、記事にはほとんど反映されず、昨年夏から冬にかけて報告された内容をいたずらに曲解・誇張し、誤った誹謗中傷の情報まで記載されていました。的外れで、事実を捻じ曲げ、悪い評判を煽るだけの今回の週刊誌編集部に対しては断固として抗議を行うつもりです。

該当医師の ER での診療態度やスタッフとの付き合い方に問題があったのは事実です。病院として、注意や警告も含めて何度も指導してきたつもりでしたが、その効果が出るのに予想以上に時間がかかり、ER現場のスタッフには思いがけないストレスをかけることになってしまいました。これが今回の週刊誌へのリークに至った理由です。紆余曲折がありましたが、ここに来て当該医師も診療態度を改め、スタッフもチーム医療を最優先とした ER 運営ができるようになりました。当該医師の ER 医師としての診療能力は ER と連携する各診療科の責任者に聞いても評価されるようになってきており、頑張ってくれている、との声も聞こえてくるようになりました。さらに一般外来に専門医の診察を要する重症患者さんが来られた場合にも迅速かつ的確に ER で対応できる体制となっています。

当院の ER で定期的に勤務していただいている非常勤の先生方は診療経験豊かなベテラン医師が多く、若い先生方も大学医局からの派遣で熱心な医師ばかりです。

常勤医としての自覚をしっかりと持つようになった当該医師が加わって、今後の当院の ER 診療は地域の皆さんの期待に今まで以上に答えることができるものと考えています。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

2024年5月8日

吹田徳洲会病院

病院長 高橋 俊樹